



都路

小さな学校・大きな家族

- み 自ら進んで学ぶ子ども
- や やさしく思いやりのある子ども
- こ 根気強くやりぬく子ども
- じ 自分の良さを発揮し、互いを認め合う都路っ子

【第14号】 平成30年11月27日(火)発行

文責 校長 平塚 裕二

芸術鑑賞教室

今年も文化庁による「優れた芸術に触れる」機会に恵まれ、11月19日(月)に名古屋市に拠点を置く「人形劇団むすび座」さんが来校し、「アラビアンナイト～魔法のランプと明日のヒカリ～」という演目の人形劇を鑑賞することができました。

劇の途中では、4～6年生の児童も出演し、事前に作った小物を使ってみんなで動きを合わせ、劇を盛り上げました。



まるで人形が生きているかのような動きに子どもたちの目は釘づけになり、最初から最後まで目を離すことができないほどの迫力に子どもたちも飽きることなく鑑賞していました。



「むすび座」のみなさん、ありがとうございました

交通安全の誓いを新たにして



表彰

最優秀作品

11月19日(月)に小野町にて「第9回田村地方交通安全大会」が開催されました。

大会では交通安全ポスターコンクールで最優秀賞となった1年の渡辺心奈さんへ賞状と記念品が授与されました。

今後田村地区のいろいろな場所で、

心奈さんの作品が掲示されます。

また、3市町の代表児童による交通安全に関する意見発表も行われ、田村市代表として6年の根本かのんさんが「命を守る私の行動」という題で堂々と自分の考えを発表し、交通安全への誓いを新たにしました。



意見発表



文部科学省大類さんと共に

11月12日（月）に文部科学省初等中等教育企画課教育制度改革室の大類室長補佐が飯村教育長と共に都路小の子どもたちの様子を参観に来校しました。



福島市出身の大類さんは、震災時にいち早く福島県に入り、様々な対応をされた方でもあり、今でも福島県の子どもたちへ強い関心を持っているそうです。

この日は、全学年の授業を参観し、6年生からは「都路キュウリマン」をプレゼントされ、子どもたちの取り組みとアイディアに感心していました。

震災からの復興に向けて取り組んできた大類さんだけに、避難そして学校再開を乗り越えて元気で頑張っている子どもたちの姿にまた元気づけられたようでした。



綿花を使って



11月12日と15日の2日間にわたって、二本松市在住の藤倉紀美子さんを講師にお迎えし、4・5年生が綿花栽培の取り組みのお話や、綿花栽培でのアドバイスをいただいたり、糸つむぎやしおり作り、マスコット作りなどを教えていただきました。

4・5年生は綿花を使った魅力ある物づくりに今チャレンジ中です。



体育専門アドバイザー 11/22



今年も体育専門アドバイザーの先生にお越しいただき、技術的な部分での専門的な指導をいただきました。

子どもたちは跳び箱運動が上手にできるコツを、アドバイザーの先生の実演やポイントを絞ったアドバイスで理解し、みるみる上達していきました。



子どもたちへのご指導や助言ありがとうございました。

「都路Return's」

都路でボランティア活動に取り組んでいる桜美林大学の学生さんたちが、YouTubeでその活動の様子を紹介しています。



運動会の様子やワークショップの様子もUPされています。

都路の子どもたちが本気で自分の町の将来の事を考え、語っている姿には感動を覚えま